

“未来共創”がスタートしました!

富山市は2020年から「未来共創」の取り組みをスタートしました。「未来共創」とは、多様な人々がそれぞれの立場や世代を越えて対等な関係で対話を重ね、未来のビジョンを共有し、そこからバックキャスティング（未来視点の発想法）で新しい価値を創造することを意味しています。

2020年9月には、その拠点施設として「Sketch Lab（スケッチラボ）」がオープンし、官民連携チームによって企画・運営されています。

「未来共創」の具体的な取り組みとして、目指すべき未来のビジョン

やその実現のための活動企画について検討する「とやま未来共創会議」（全5回）を開催しました。このプログラムは市内の幅広い世代・立場の参加者が、それぞれの考えるありたい富山の未来像について共有するとともに、その実現のために解決すべき地域課題を自分事として考え、行動するための一連のワークショップです。

「とやま未来共創ビジョン 1.0」はその中から生まれてきた市民が目指したいまちづくりの方向性です。

とやま未来共創会議の進め方

1 暮らしの課題を考える 2020.9.6



コロナ禍という状況も踏まえ、今の暮らしで困っていること検討し、それぞれが「大切な」「守りたいもの」について参加者同士が意見交換し、より共感度の高いものを取りまとめ、理想の富山のイメージを共有しました。

2 理想の富山を共有する 2020.9.27



「大切な」「守りたいもの」について参加者同士が意見交換し、より共感度の高いものを取りまとめ、理想の富山のイメージを共有しました。

3 自分の理想の生活を描く 2020.10.18



理想の富山を踏まえ、自分自身の将来の暮らしについて実際にスケッチしました。そのイメージをとりまとめたものが「とやま未来共創ビジョン 1.0」です。

4 自分事として活動してみる 2020.11.15,12.20



未来のビジョンのうち、自分事として関わりたいものについて検討し、リーダーを中心としてグループごとに今後の活動企画を行いました。

